

インターバンクの声（2015年9月17日）

普段は足許の値動きが一番気になるディーラーだが、昨日くらいからは明日（18日）の日本時間未明の米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果が発表された後、ドルがどんな反応を示すのかが気になって仕方がない。昨晚も格付け会社大手のスタンダード・アンド・プアーズ（S&P）が日本国債の格付けを「AA マイナス」から「A プラス」に引き下げたり、8月の米消費者物価指数が7か月ぶりに前月比マイナスに落ち込むような結果の発表もあったが、市場の反応は極めて限定的だった。とにもかくにも今は米連邦準備理事会（FRB）が2006年以来の利上げを決定するのかどうかだけが注目なのだ。いくつかあるエコノミストへのヒヤリング調査も、今回の利上げは見送られるとの予想が過半数を超えているようだが、相場は彼らの見立て通りには行かないことがままあるから面白いのだ。明日の発表直前に新たなポジションを作る人は限られるだろうが、「利上げ決定見送り」と「利上げ決定」の発表に備えて複数の対応シナリオを用意するのが明日までの大事な仕事だ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。